

全自動かつ迅速な検出技術

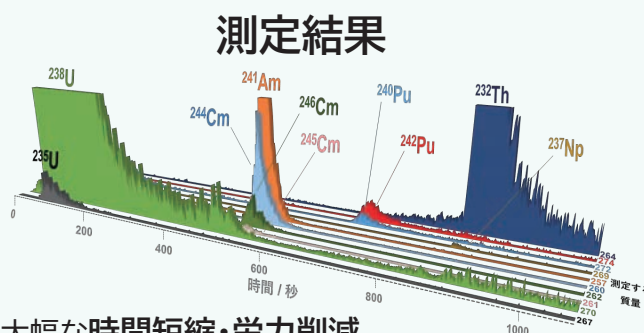
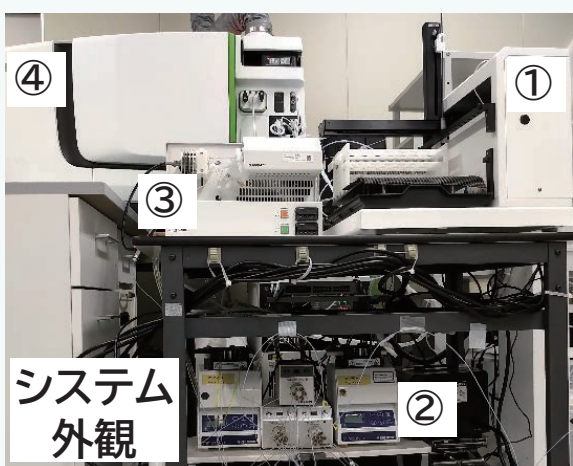
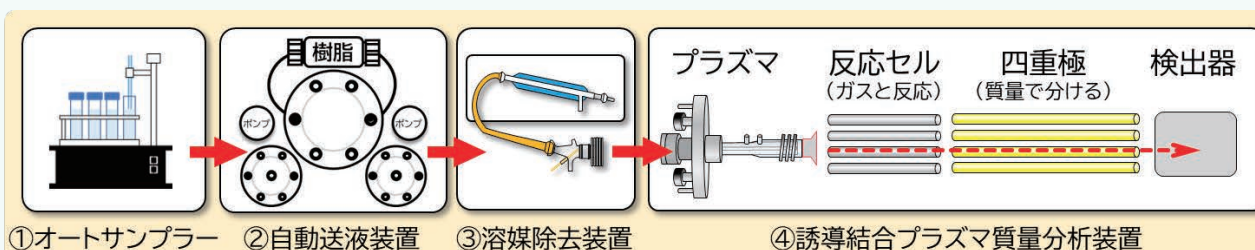
- 約40分で最大10核種を一斉に検出
- 煩雑かつ時間のかかる分離作業を自動化
- 分析対象に応じたカスタマイズが可能

キーワード：質量分析、アルファ線放出核種、自動化、迅速化

※放射能測定法シリーズ12(日本分析センター) プルトニウム分析法

従来法※：核種の分離作業が煩雑で時間がかかる(20～30時間)、1測定で1核種のみ

本法：一連の分離・分析工程を自動化、複数核種を約40分で一斉検出



- ・大幅な時間短縮・労力削減
- ・分析者の力量依存が小さい
- ・樹脂の変更により ^{90}Sr 、 ^{99}Tc などにも展開可能

技術のステージ



実用化開発

関連業種

学術・研究開発機関、
技術サービス業

利用分野

- ・原子力施設における放射線計測
- ・原子炉廃止措置における試料分析
- ・環境試料の放射性核種分析

知財・関連技術情報

特開2023-070337

(共願：福島大学)

技術の詳細

